



議会だより

いね

令和7年7月24日

第106号



議会だよりはこのQRコード
からご覧いただけます。

夏のはじまり

6月定例会

■ 令和7年度一般会計補正予算	2
■ 専決処分 他	3
■ 町政を問う 一般質問(3人が質問)	6
■ 委員会報告	7
■ 玉手箱	8
■ 編集後記	8

本庄浜海水浴場海開き

令和7年 第2回 定例会

6月6日から20日の間に開かれ、諸般の報告・行政報告2件、専決処分等の報告2件、令和6年度専決補正予算2件、専決条例一部改正3件、令和7年度補正予算2件、条例一部改正・廃止5件、契約4件について審議されました。

令和7年度伊根町一般会計第1回補正予算

〈全員賛成で可決〉

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ359,376千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3,684,624千円とする。

【主な補正予算の内容】

- 跡地活用事業が前年度補正で採択されたため不要となる事業費減額
- 带状疱疹ワクチンなどの高齢者の負担軽減に要する給付予算
- 本庄浜海水浴場施設の改築のための調査設計
- 消防設備整備費補助金（蒲入地区）



建替に向けた調査設計がはじまる本庄浜海水浴場施設



接種がはじまった带状疱疹ワクチン補助

【その他の予算】

- 本庄小学校雨漏り修繕 1,430千円
- 桜ヶ丘運動公園水道施設修繕費 800千円
- コミュニティ協議会によるサマーキャンプなどの費用 400千円



サマーキャンプに使用するドラム缶風呂

コミュニティで実施されるサマーキャンプに係る補助、8月開催予定のイングリッシュキャンプ



使用中止の桜ヶ丘運動公園公衆トイレ漏水修繕



体育館との渡り廊下部の雨漏り修繕



老朽化した食洗器

○伊根中学校給食室食洗機修繕費

234千円

令和7年度伊根町国民健康保険特別会計第1回補正予算

〈全員賛成で可決〉

国民健康保険事業勘定

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,506千円を追加し、歳入歳出予算の総額を389,736千円とする。

【主な補正予算の内容】

帯状疱疹ワクチンの予防接種に係る国保加入者の負担軽減のための給付予算

伊根診療所勘定

伊根診療所勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ13,078千円を追加し、歳入歳出予算の総額を118,678千円とする。

【主な補正予算の内容】

新型コロナウイルスワクチン接種料及び新たに法定接種となった帯状疱疹ワクチンの接種委託料

ワクチン接種に必要な医薬材料費

専決処分

〈全て全員賛成で承認〉

令和6年度伊根町一般会計第8回補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ192,013千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4,502,631千円とする。

地方交付税等交付金の額の決定に伴う補正。

令和6年度伊根町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,627千円を追加し、歳入歳出予算の総額を46,392千円とする。

団塊の世代が、国保から後期高齢者になったことにより、当初の想定よりも保険料の収納が増額となったため、広域連合への納付金も増額補正。

伊根町職員旅費条例の一部を改正する条例の一部改正

【提案理由】

実費で支給する特別職職員の宿泊費上限額を国の指定職の部分を適用するための改正。

Q 過誤請求に関する返還対象はいつからの診療が対象か。

A 令和2年4月から対象。

Q 時効成立分は、単費返還も可能だが返還しないのか。

A 時効成立分の単費返還はしない。

Q 令和2年4月診療分からレセプト再請求の時効が変更になっているが、

本事案に時効3年と5年の混在はあるのか。

A 5年時効のもののみ対象。混在していない。

伊根町国民健康保険税条例の一部改正

【提案理由】

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令施行に伴う所要の改正。

伊根町町税条例の一部改正

【提案理由】

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律施行に伴う所要の改正。

条例の制定及び改正

〈全て全員賛成で可決〉

伊根町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び伊根町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

【提案理由】

仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等に係る規定を加えるとともに、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律施行に伴う改正。

伊根町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について

【提案理由】

高齢者部分休業取得時に減額する給与額に地域手当を加えるための改正。

伊根町予約型乗合交通運行条例の一部改正について

【提案理由】

運賃区分の変更により、利用者の利便性の向上を図る改正。

新旧伊根町予約型乗合交通運行条例

現 行			改正後（案）		
種 類	区 分	金 額	種 類	区 分	金 額
通常運賃	大人	1乗車 300円	通常運賃	大人・生徒	1乗車 300円
	障害者・小児	1乗車 150円		障害者・小児	1乗車 150円
	幼児	無料		幼児	無料
回数券 (10枚綴)	大人	2,000円	回数券 (10枚綴)	大人	2,000円
	障害者・小児	1,000円		生徒	1,500円
定期券	90日未満	通常運賃× 日数×2× 0.52で算出 した額 (10円未満 切り上げ)		障害者・小児	1,000円
	90日以上	通常運賃× 日数×2× 0.52×0.95 で算出した額 (10円未満 切り上げ)	定期券	90日未満	通常運賃× 日数×2× 0.52で算出 した額 (10円未満 切り上げ)
				90日以上	通常運賃× 日数×2× 0.52×0.95 で算出した額 (10円未満 切り上げ)

伊根町国民健康保険税条例の一部改正について

【提案理由】

町民税の決定に伴い、賦課目標額に必要な乗率算定を行う改正。

伊根町活き生きまちづくり応援基金条例の廃止について

【提案理由】

伊根町活き生きまちづくり応援基金を処分したため、条例を廃止。

物品購入契約の締結

〈多機能型小型動力ポンプ付積載車〉

【契約金額】 8,514,000円

【契約の相手】 大槻ポンプ工業株式会社 宮津営業所 所長 倉 慎平

【取得財産】 多機能型小型動力ポンプ付積載車



更新される多機能型小型ポンプ付積載車

〈タブレット端末購入〉

【契約金額】 9,547,841円

【契約の相手】 京都市市町村GIGAスクール共同事業体

代表 株式会社 内田洋行 ITソリューションズ

代表取締役 新家 俊英

【取得財産】 タブレット端末 (iPad) 139台



小中学校に配布されるタブレット端末

その他の議案

〈全て全員賛成で可決〉

令和7年度伊根漁港水産物供給基盤機能保全工事請負契約の締結

【契約金額】

94,600,000円

【契約の相手】

安田建設株式会社 代表取締役 安田 昌司

令和7年度伊根漁港海岸保全施設整備工事請負契約の締結

【契約金額】

85,690,000円

【契約の相手】

河嶋建設株式会社 代表取締役 河嶋 義孝

町政を問う

3人の議員が一般質問

一般質問の
動画配信を行っています。



町独自の物価高騰対策を

国、府の交付金を活用し 物価高騰対策を講じる

問 食料品価格やエネルギー価格の高騰が町民の生活を脅かしている。

伊根町でも町民のいのちと暮らし中小零細事業者を守るために国や府へさらなる物価高騰対策を要請するとともに、町としてあらゆる交付金などを活用しながら緊急に物価高騰対策を講

じる必要がある。例として「低所得者に対し、米価高騰支援」「国民健康保険税の未就学児に係る均等割額をなくすための町独自に残り二分の一の軽減対策」「町内の訪問介護・障害福祉サービス事業所に対して物価高騰対策のための助成」「肥料・飼料等が高騰対策

として農家への支援」「上下水道基本料金を一定期間減免」等、町民の暮らしを助ける施策として早急に検討するべきではないか。

答 町長 今回、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が追加交付されることになり、その活用方法として、「子育て支援特別給



大谷 功 議員

包括的性教育について

発達段階に基づき指導を 進めていく

問 包括的性教育とは、単に性行為や生殖に関する知識を教えるのではなく、人権を基盤に、ジェンダー平等、性の多様性、性的同意、性暴力防止などを含む、より広範な内容を含む教育のこと。国際的にはオランダや北欧諸国、カナダなどで早期から体系的に行われており、日本においてもその導

入・充実が求められている。しかし現在の日本の学習指導要領では、性教育は限定的な扱いとなっており、妊娠・避妊や性的同意といった重要なテーマが十分に教えられていない現状がある。また、教員の研修不足や保護者・地域との連携の必要性も課題として考えられる。そのような中でも先



山根 朝子 議員

進的な取り組みを進める自治体もあり、地域全体で包括的性教育を進めることにより、子どもたちの人権意識や安心できる学びの場づくりにつながるかとされている。当町での性教育の実施状況や「生命の安全教育」の具体的な取り組み、保護者との連携や教職員の研修等はどのような状況なのか。

答 学習指導要領では「性教育」ではなく「性に関する指導」と表現され、児童生徒の発達段階を踏まえて、広い視点から性に関する理解を深める取り組みを行っている。「生命の安全教育」は年間計画に基づいて指導を行っている。中学校では、性の多様性や人権を重視した「包括的性教育」の視点を含む計画を策定し、4時間程度の授業を実施。また、性暴力防止や相手を尊重する態度の育成など、子どもたちの心と身体の成長に寄り添った教育を進めている。学校だよりや保健室だより

を付した方のみではなく、できる限り全住民が対象となるような支援とする、全住民が対象とならない、対象にできない時には、一定の道理が立つ形で対象者を絞り、平等性、公平性を保った手法を検討する。今後、町民のいのちと暮らし、そして、事業者を守るため、国、府の交付金を活用して、その時々に応じた物価高騰対策を講じる。

を活用した情報提供のほか、授業参観や学習成果の共有により保護者との連携を深める工夫をしている。教員の研修についても、校内研修を実施しており、外部講師として学校医、助産師、人権擁護委員、LGBTQ関係者の協力も得ている。今後も、「生命の安全教育」の枠組みを活かしながら、人権教育や道徳教育とも連動した広い視点での「性に関する指導」を推進していく。



委員会報告

総務委員会

● 令和7年6月6日・6月20日

・学校給食について協議した。

産業建設委員会

● 令和7年6月6日

・国が海業を通じて、地域振興や地域活性化を図ろうとしているので、海業について学ぶ方向で次回地域整備課長に説明を受けることとした。

● 令和7年6月20日

・地域整備課長より、海業について町の考え方などの報告を受けた。

被災前からの備えを

A 住民の防災意識を高める

問 当町では近年大きな災害や大きな地震は起きていない。能登半島地震で亡くなられた方589人のうち災害関連死361人で半数以上となっている。当町でも大規模災害が起きた時、行政の混乱や避難の長期化による心の変化、避難所での持病のある方や、お年寄

りから小さい子ども、インフルエンザ等のまん延など被災者を取り巻く状況は大きく変化する。被災前からの備えとして、能登半島地震の事例を元に、マニュアル作りや訓練などの備えが必要と考える。また、当町で大きな災害が起きた時の為、町民の方が災害グッズ

答 災害に関する備えには伊根町の区域に係る防災に関し総合化と計画化を図り、万全を期す事を目的とし伊根町地域防災計画を定めている。また当町は様々な想



上 辻 亨 議員

定で防災訓練を実施している。また災害警戒、対策本部運営のための職員の参集と情報伝達のための手順確認などを行っている。さらに被災前から備える事の中心となる、「防災士」を養成するために京都府と一体となって「防災士養成研修」を公募し、昨年ようやく町内から1名の防災士が誕生した。今後もこのような機会を提供し、住民の皆さんが自ら防災について考える行動する機会を提供していく。町民の災害グッズの配備状況の調査であるが自助の範ちゅうとの考えから、これまで住民からお聞きした事はない。しかし各家庭において家具の固定、食料、飲料水など家庭で出来る防災対策、住民の防災意識を高め減災に向けて行動する自助力を強化し、自助、共助、公助が連携しあう社会を目指し災害による被害を軽減していくことを進める。





伊根町の水産会社の紹介です。

伊根浦漁業株式会社

伊根浦漁業株式会社は、平成15年10月1日に設立し今年で22年目を迎えます。

本社は、元々旧伊根漁業協同組合の「自営定置漁業」と道の駅にある「舟屋の里おみやげもの店」を引き継ぎ運営しているもので、定置漁業については鋤崎1号、2号及び割礁の三漁場を操業し、おみやげもの店では定置で漁獲された季節の魚を加工し販売しています。

定置漁業においては、近年、久しく見かけなかったイワシが2～3月にかけて再び入網してくれるようになった一方で、クロマグロ、サワラ、アジなどの主要魚種の漁獲減少が目立っております。

他海域、他県に目を向けると太平洋側のサンマ漁が激減しているほか北海道ではスルメイカの漁獲が少ないため初セリを中止したり、定置網

にサケに替わってブリが大量に入網するなど、全国的に海の大きな異変が見られております。

こうしたことへの対応として、国を挙げて「資源管理型漁業」が進められております。

具体的には、漁獲可能量制度（TAC…一定数量以上獲らず、残された魚の繁殖により資源回復を図る）と言って漁獲量を制限する方法を中心に推進しております。

太平洋においては数年前からクロマグロ資源に陰りが見え始めたことから関係する24ヶ国・EU・台湾（WPCFC…中西部太平洋まぐろ類委員会）で話し合い、当該各国地域の漁獲しても良い量を決め、それを超えないよう逃がしたりしながら我慢の漁業を実践しております。

そうした努力の甲斐あってクロマグロ資源は増加に転じたとのことから令和7年は漁獲可能量が増枠されました。なお、水産庁ではこうした手法を他の魚種にも広めていくことを予定しております。

ており本年4月からはブリもTAC対象魚種とすべく試行期間に入っております。

我々漁業者にとつては、たいへん辛い取り組みではありますが、



マグロの水揚げ

将来を見越したときに、現時点ではこの方法以外の良策が見当たりません。従って、TACにしっかりと取り組み魚介類で満たされた海で漁業をすべく一同頑張っておりますので、町民の皆さんのご理解をよろしくお願い致します。

一方のおみやげもの店については、コロナ禍で元気がない時期もありましたが、インバウンドの増加等により以前の元気を取り戻してきていますので、町民の皆さんにも一層ご利用くださいますようお願いいたします。

最後に、伊根町は、観光も盛んになってきましたが、古くより第一次産業の盛んな街です。今後も第一次産業の生産物を町民はもとより府民・国民へと供給していくことが伊根町の役割のひとつであるとの認識のもと農林と観光とが連携し取り組むことにより元気ある伊根町を目指したい思いで一杯です。

編集後記

近畿地方は7月を待たずに梅雨が明け、ムシムシした暑い毎日が続いています。

水分補給や栄養管理、睡眠時間の確保など、体調管理を万全にしよう。異常気象だけでなく、鹿の農作物への被害は拡大しており、熊の住宅地内への出没なども多くなっています。暮らし自体がこれまでとは変わってきています。議会も住民の皆様の様々な声をお聞きしながら、その変化に対応した活動を進めていきたいと思っております。



広報編集委員

■委員長	■委員長	■副委員長	■委員
松山義宗	長谷川貴之	山根朝子	濱野茂樹